

事業領域の拡大と コスト構造の改革を実現し、 収益改善に取り組みます。



平成30年12月

代表取締役社長 阿部 茂雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第117期上半期(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

■経営環境について

当社グループを取り巻く経営環境は、紙媒体の需要減少や価格競争の激化による受注価格の低下が止まらず、依然として厳しい状況にあります。

■業績について

当上半期の業績は、売上高80億22百万円(前年同期比0.6%減)となり、損益面は営業利益61百万円(前年同期比50.5%減)、経常利益96百万円(前年同期比32.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益(特別利益)を計上した結果1億31百万円(前年同期比150.3%増)となりました。引き続き収益確保に努めてまいります。最近の業績の動向や経営環境を踏まえて、通期業績予想を修正いたしました。

セグメント別の業績では、印刷事業は宣伝用印刷物の減少に加えて配送伝票の生産調整があり減収減益となりました。電子部品製造事業は水晶業界の市場低迷によりエッチング精密製品の売上が減少しましたが、車載用タッチパネル製品の売上が増加し、損益面も改善しました。不動産賃貸等事業は増収増益となりました。

■当社の取り組みについて

印刷事業では上流工程から周辺領域を巻き込んだ提案営業を積極的に進めるとともに、顧客ニーズの多様

化により多品種・少量生産の需要が高まっている商業印刷業界の動向に対応するため、小ロット印刷物の受注生産に向けた取り組みを開始いたしました。ビジネスフォーム分野ではラベル・CVS(コンビニエンスストア)伝票などの新商材の伸長を推進していくことで、顧客に向けたサービス体制を構築し売上の増加に取り組んでまいります。生産部門は生産機能規模の適正化と生産体制の見直しによる効率化とコスト低減に努めております。

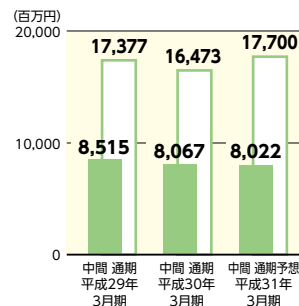
電子部品製造事業は、車載用ディスプレイの需要拡大が予想される市場動向に対応するべく、Agメッシュ配線ガラス基板の量産開始を本年12月に予定しています。

■今後の見通しについて

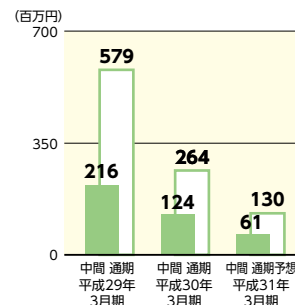
市場環境は引き続き厳しい状況が予想されますが、持続的な成長に向け、事業領域の拡大とコスト構造の改革を実現し収益改善を目指してまいります。連結子会社化した新村印刷株式会社は、特に包装・パッケージ分野において高品質な製品を生産し、豊富な取引実績と一定数のシェアを有しております。新たな分野への進出と既存事業との相乗効果を生み出しさらなる成長を実現してまいります。

今後とも、皆様のご期待にお応えできるように、社員全員で一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

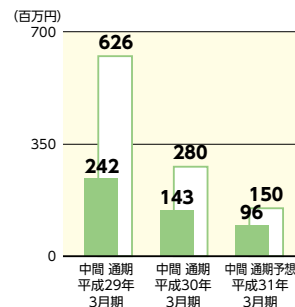
■売上高 8,022百万円



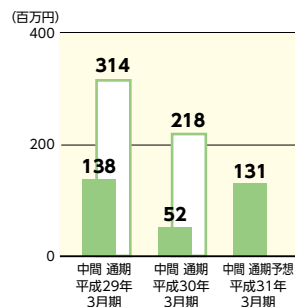
■営業利益 61百万円



■経常利益 96百万円

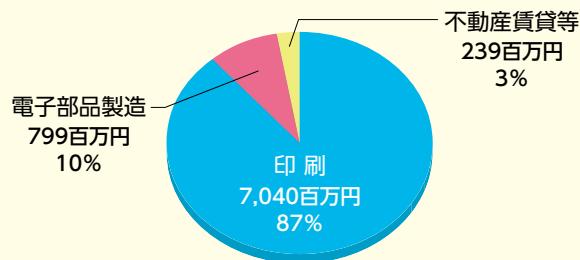


■親会社株主に 帰属する 中間純利益 131百万円



セグメント別事業報告

■売上高構成比



印刷



当社グループのメイン事業であり、読売新聞社の朝夕刊をはじめ、宣伝用印刷物や伝票、出版物の印刷を行っております。当上半期は、機械稼働時間の拡大や生産拠点の集約化、原材料発注業務の集約に取り組みましたが、配送用伝票や宣伝用印刷物の売上減少等があり、売上高は70億40百万円（前年同期比2.3%減）、営業損失77百万円（前年同期は29百万円の利益）となりました。

電子部品製造



当事業ではカーナビ用のタッチパネルや、エレクトロニクス製品で使用される精密な金属部品等を製造しております。当上半期は、エッチング精密製品は水晶業界の市場低迷により売上が減少しましたが、車載用タッチパネル製品の売上が大幅に増加したことにより、売上高は7億99百万円（前年同期比13.3%増）、営業損失31百万円（前年同期は65百万円の損失）となりました。

不動産賃貸等

当事業では本社ビルなど一部不動産をテナントへ賃貸を行っているほか、太陽光発電事業を行っております。当上半期の売上高は2億39百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益1億70百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

■ 新村印刷が子会社となりました ■

新村印刷株式会社の全株式を10月1日付で取得し、子会社化いたしました。新村印刷は、1931年創業の印刷会社です。特に売上の約4割を占める包装・パッケージ分野においては、高度な専門知識を持った包装管理士やCADチームを社内にも有し、医薬品を中心とした包装材分野で一定数のシェアを占めております。また当社の主力工場に生産拠点も近接していることから、今後はグループ間で多角的な事業展開を推進するとともに、生産部門の効率化に努め、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。



上：主力の包装・パッケージ製品

下：生産拠点となる狭山工場

■ 株主優待カレンダーのご紹介 ■

2019年の当社オリジナルカレンダーは、世界の美術館シリーズ第6弾、ドイツのアルテ・ピナコテークを取り上げます。美術館名の「アルテ」はドイツ語の「古い」、「ピナコテーク」はギリシア語の「美術館」に由来します。世界の6大美術館のひとつに数えられるアルテ・ピナコテークが誇る名品から厳選したカレンダーをぜひご愛用ください。

カレンダーは、9月30日現在1単元株以上ご所有の株主様に12月中旬にお届けします。

会社概要

(平成30年9月30日現在)

商号 光村印刷株式会社
創業 明治34年10月20日
設立 昭和11年12月21日
資本金 56億788万円
従業員 単体580名、連結746名

事業所



本社

本社
〒141-8567
東京都品川区大崎一丁目15番9号
電話：03-3492-1181 (代表)

大阪支店
〒541-0056
大阪市中央区久太郎町一丁目3番9号
電話：06-6266-5801

名古屋支店
〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番9号
太陽生命名古屋第2ビル6階
電話：052-951-0621

川越工場
〒350-1165
埼玉県川越市南台一丁目1番地1
電話：049-242-4025

草加工場
〒340-0013
埼玉県草加市松江五丁目2番31号
電話：048-935-1201

那須工場
〒324-0036
栃木県大田原市下石上1378番7
電話：0287-29-2610



川越工場



草加工場



那須工場

役員

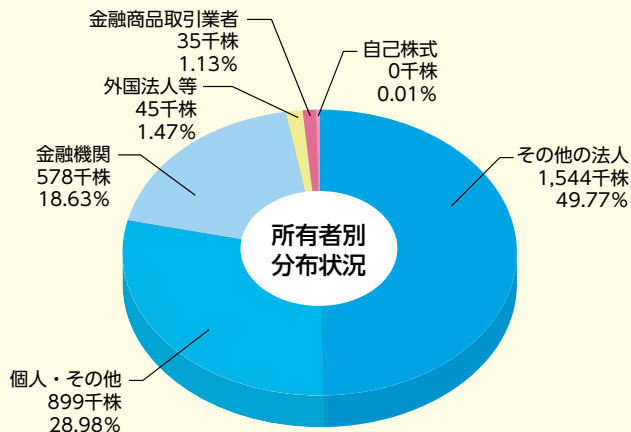
代表取締役社長 (社長執行役員)	阿部 茂雄
取締役 (専務執行役員)	齋藤 淳一
取締役 (常務執行役員)	嶋山 芳夫
取締役 (常務執行役員)	北條 文雄
社外取締役	柴崎 憲二
社外取締役	榎本 雅彦
常勤監査役	久富 祥一
常勤監査役	吉崎 久
社外監査役	齋藤 剛
社外監査役	半田 常彰
上席執行役員	辻 明成
執行役員	檜垣 浩
執行役員	石川 浩之
執行役員	池田 昌隆
執行役員	小田島 隆太
執行役員	坂本章一
執行役員	伊東 康博
執行役員	浅利 裕一

(注) 当社は、社外取締役柴崎憲二、榎本雅彦及び社外監査役齋藤剛の各氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定しております。

関係会社 (平成30年10月1日現在)

新村印刷株式会社
株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社
株式会社メディア光村
株式会社大洲
群馬高速オフセット株式会社

発行可能株式総数	9,947,800株
発行済株式の総数	3,103,420株
単元株式数	100株
株主数	2,675名



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	511	16.49
D I C株式会社	457	14.72
株式会社読売新聞グループ本社	224	7.23
株式会社三菱UFJ銀行	112	3.63
株式会社SCREENホールディングス	100	3.22
株式会社十六銀行	66	2.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	57	1.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	51	1.64
三菱UFJリース株式会社	48	1.57
株式会社みずほ銀行	45	1.45

(注) 1. 持株比率は、自己株式(422株)を控除して計算しています。

2. D I C株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として提出しているものです。

(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・D I C株式会社口)」です。)

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

剰余金配当の基準日

3月31日及び中間配当の
支払を行うときは9月30日

定時株主総会の基準日

3月31日

定時株主総会の開催

毎年6月

公告の方法

電子公告

(<http://www.mitsumura.co.jp/>)

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711(通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

同連絡先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話 0120-782-031(通話料無料)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について


株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



 **光村印刷株式会社** (東証一部:7916)
〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目15番9号

〈ホームページ〉
<http://www.mitsumura.co.jp/>
右記のQRコードからもご覧いただけます。

